

平成28年11月25日

学 校 長 様  
英語科幹事 様

函館市中学校英語教育研究会  
会 長 安 達 克 佳  
研究部長 藤 原 功 生

## 函館市中学校英語教育研究会 冬期研修会のご案内

秋冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。皆様におかれましては、校務多忙を極める中、平素より函館市の英語教育の発展のためご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年度の冬期研修会を下記要領にて開催する運びとなりました。冬期研修会をより教育現場での実践へと繋げる場とするため、市内中学校・高等学校で優れた実践をされている先生方3名に「マイクロティーチング」としてワークショップをしていただきます。また、研修会の最後にはグループディスカッションも行って、先生方との実践交流を図りたいと考えています。明日からすぐに使える授業ネタが満載のワークショップです。ぜひ多くの先生方にご参加いただき、各学校に持ち帰ってシェアの輪を広げていただければと思います。

また、同日夕刻より懇親会もご用意しておりますので、ふるってご参加くださいますようご案内申し上げます。

### 記

- 1 期日 : 平成28年 12月 26日 (月) 14:00~16:00
- 2 場所 : 函館ラ・サール中学校高等学校 多目的教室 (TEL 52-0365)
- 3 内容 : A. マイクロティーチング  
ワークショップ①「小中英語教育の連携」

by 塚野太朗 先生



函館市立光成中学校教諭。

小学校外国語活動が実施され、子ども達中学入学時ですでに英語を耳で覚え、文法的な正確さはさておき単語の発音や簡単な会話は可能です。それをどう活かすか、小学校の学びを踏まえたうえでの学習とは何かを考えます。その提案の一つとして ICT の活用をご紹介します。

## ワークショップ② 「中から高へーコンテキスト設定から始める指導の在り方」

by 藤原功生 先生



函館ラ・サール中学校教諭。函館市中英研研究部長。

2016年度文科省・英検協会海外派遣教員。

一度やる気になった生徒は自律的学習者となり自ら学んでくれますが、そこに至るまでのプロセスが教師の腕の見せどころでもあります。参加者の皆様とともに、生徒を「どうやって学びに向けさせるか」を考えます。

## ワークショップ③ 「あるべき中学英語指導—高校実践から考える」

by 瀬戸伸晴 先生



函館大学付属有斗高校前教頭。

函館ラ・サール高校、函館白百合学園高校、遺愛学院高校、市立函館病院高等看護学院講師。

ゼスター総合英語共著。北の英語大学事務局長。

豊富な経験と実績に裏打ちされた実践は必見。高校教師の目から見て、変革期にある今日の中学英語に何が必要とされているのかを考えます。

### B. グループディスカッション

「明日の函館英語教育 改善に向けて(仮)」

- 4 懇親会 : 場所 「雅龍」(花園交差点近く) TEL 33-0051  
時間 18:00~20:00 会費 1人 4500円  
※懇親会は自由参加です  
※懇親会に関する問い合わせは会長安達(090-9512-7330)まで
- 5 申込 : 12月16日(金)〆切  
※参加申込用紙(別紙)に記入の上、函館ラ・サール中学校 藤原までもメールもしくはFAXにてお申し込みください  
(MAIL kosei0511@gmail.com / FAX 54-0365)
- 6 備考 : 問い合わせは研究部長 藤原(Tel 080-3336-3520)までお願いいたします